

国連WFP向け拠出事業の概要

食料安全保障と地域発展のための地域食料システム構築支援事業



農林水産省

World Food Programme

令和7年度予算概算決定額：約**4,600**万円、事業期間：2025年～2028年（3年間）

1. 過去事業成果の棚卸し・分析

1998年以降、農水省はWFP向け拠出事業により**西アフリカ各地**で**住民参加型の小規模水田開発・稲作支援**を実施。

近年では**園芸作物や栄養改善、地産地消型学校給食との連携**にも着手、**大半の実施地域で追加援助が不要**となっている。

この25年以上にわたる事業成果の中から、成功の鍵となった事象を抽出し、**他の西アフリカ諸国へ展開**できるよう取りまとめる（TICAD 9で公表を検討）。

2. 官民連携によるモデルファーム

過去事業の知見を、民間企業との連携により西アフリカへの横展開を行うべく、

- ①セネガルで対象地域・対象農協に**実証圃場**を設置し、
- ②**日系民間企業をパートナー**として資機材の実証と同時に小規模農家に対する技術指導を実施。

活動を通じて、**小規模農家支援のみならず、民間企業による実証活動、現地パートナーとのコネクション形成にも貢献**。

また実証圃場を拠点として、我が国民間企業による食料・農業分野で西アフリカ地域への参入を後押し。



セネガルから
周辺諸国へ...

さらには
西アフリカ
地域全体へ

これまでに
実施した国

コートジボワール、マリ、ブルキナファソ、
リベリア、ギニアビサウ、セネガル、シエラレオネ



過去の事業実績地

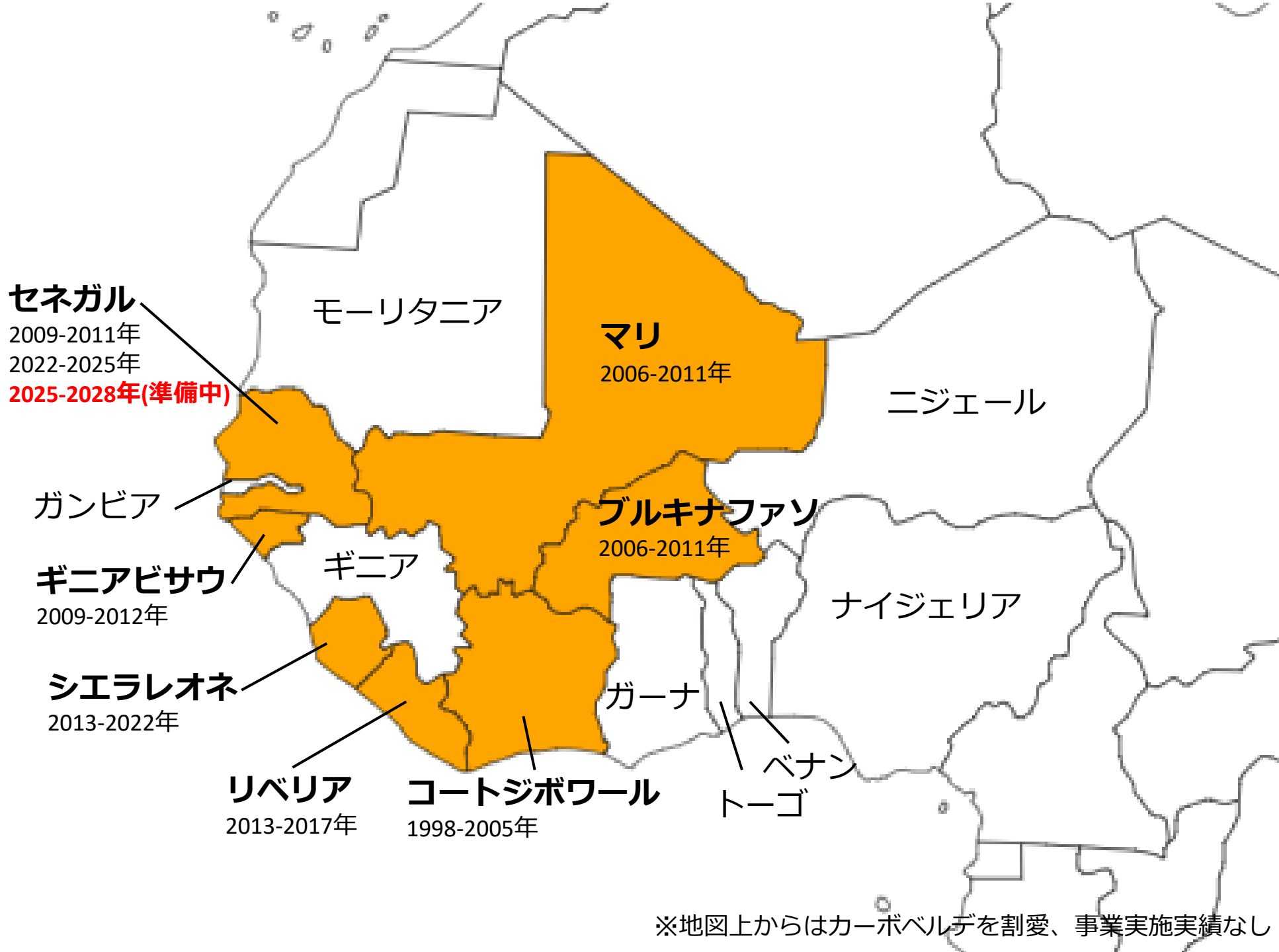
※括弧内は事業実施期間

1998年～2025年の間
西アフリカ16か国中

7 か国で事業実施

土地開発規模
4700ha以上

直接裨益者数(延べ数)
6.8万人以上



※地図上からはカーボベルデを割愛、事業実施実績なし